

相談支援センター 絆

防災計画策定ワークショップに参加しました

絆では地域で暮らす障がい者の方が暮らしやすいまちづくりを目指して、地域の様々な会議等に参加しています。今回はその一部をご紹介します。

例年、日本各地で大雨や台風、地震等の自然災害が多発しています。熊本での大きな災害と言えば、くまむた荘でも大きな被害が出た熊本地震や、人吉・球磨豪雨などが記憶に新しいと思います。

自然災害そのものをなくすることはできませんが、被害を最小限に抑えることは可能です。そのために必要なことは、日頃の備えです。食料の備蓄や防災グッズの準備など個人でできる備えと、避難訓練や避難時の声掛けなど、地域全体でできる備えがあります。

今回のワークショップでは、地域の防災力を高めるための「防災計画」の策定を目指し、地域住民の方々と災害時に不安なことと、それをもとにした地域での防災課題についてグループワークを行いました。課題として挙げられたことの中には「地域にどんな住民がいるか把握できていない」「住民の防災意識が低い」などの意見がありました。今回は、今回は、地域で優先して取り組む課題について選定を行う予定となっております。

地域の特色はそれぞれ違いますが地域での災害時の備えとして「ひととのつながり」が重要であるということは共通していることだと感じました。お隣の方との交流が防災の第一歩となります。

